

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童がより音楽に親しめるよう、様々な曲に触れる機会を設けたり、体を使った活動を取り入れたりした。また、様々な難易度の曲を学習することで、児童が楽しみながら前向きに活動するようになった。
- ・基礎的な技術の向上のため、曲想に合った発声練習や楽器に応じた練習等を取り入れたことで、歌唱や器楽の技能の定着が図れた。
- ・児童が表現を工夫しやすくなるように、発達段階に応じた手立てを講じることによって、多くの児童が最後まで活動を行うことができた。
- ・音楽朝会では、全校で歌う時間を多く取り入れたことで、みんなで歌う楽しさを体感することができた。また、昨年度は音楽会があり、発表の機会が多くあったことで技能面だけでなく、表現する楽しさや鑑賞する楽しさを味わうことができた。

(2) 課題

- ・リコーダーの学習では、トーンホールの押さえ方やタンギングなどに課題があるなど、技能面でのつまづきがあった。つまづきが多い児童は音色を意識して演奏するところまで高めることができなかった。
- ・歌唱も器楽演奏も意欲的に取り組むことができたので、お互いの声や楽器の音を聴き合って歌ったり、演奏する活動の時間を多くしたりして、取り組ませることが必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと言葉を発音させるために、口の形を意識させながら歌詞を音読させたり、歌ったりさせたりする場面をつくる。 ・鍵盤ハーモニカの基本的な奏法（姿勢・息使い・運指）が定着するように繰り返し指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階名唱や部分演奏、リズム演奏を組み合わせた練習で鍵盤ハーモニカの演奏技能を高め、その上で、自分の思いや意図をもって演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、親しみやすい楽曲を取り入れて、音楽に合わせて体を動かす活動から音楽の楽しさを感じられるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間授業の最初に発声練習を行い、声の響きを意識して歌う習慣をつける。また、友達の声や周りの声に自分の声を溶け込ませて歌うことを意識させる。 ・リコーダーの基本的な奏法（姿勢・息使い・運指）が定着するように、繰り返し指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図をもって歌ったり、演奏したりできるように、歌詞の内容や、曲想と音楽の構造との関わりを考えさせる場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に集中できるような授業展開にするために、ICTを活用し、視覚的に理解しやすくしたり、毎時間のめあてを具体的に示したりする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間授業の最初に発声練習を行い、声の響きを意識して歌う習慣をつける。 ・器楽合奏では、全体の響きや音のバランスを意識しながら演奏に取り組むことができるように、聴くことに集中する場面をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、旋律の動きや伴奏から、曲想を生かした表現を工夫して歌えるようにするために、他のパートの声や伴奏の音を集中して聴くことのできる場面をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に集中できるような授業展開にするために、ICTを活用し、視覚的に理解しやすくしたり、毎時間のめあてを示したりする。 ・合唱や合奏を友達と作り上げる活動を通して、達成感や感動を共有し、音楽に対する興味・関心を高める。

4 重点指導事項

○歌唱や器楽演奏の場面では、基礎的な部分から段階的に指導を進め、確実に知識や技能が習得できるようにする。(知識・技能)

○低・中学年：曲の特徴について具体的な表現方法を様々に試すなど、表現を工夫する楽しさを味わわせたり、表現が豊かに変容したことを価値付けて全体に共有したりすることで、自分の思いや意図を膨らませ、歌唱や演奏で表現できるようにする。(思考・判断・表現)

高学年：自分の歌声を全体の中で調和させて歌うことができるようにするために、日常から周りの音を意識させる声かけを行う。(思考・判断・表現)

○合唱や合奏を友達と作り上げる活動を通して、達成感や感動を共有し、音楽に対する興味・関心を高める。
(主体的に学習に取り組む態度)